校長通信　「広徳中学校　スクールプライド」

令和６年 ３月２２日
北九州市立広徳中学校
校 長 児 島　誠
第７４号

令和５年度 いよいよ修了式を迎えました

広徳中学校の生徒の皆さん、保護者の皆様、校長の児島です。令和５年度も、今日で修了式を迎えました。まさに「光陰矢の如し」、今年度は、感染予防から普段の生活に戻っていく１年間でしたが、今日を迎えられたのも、生徒の皆さんがこの学校を大切に思い、そして保護者の皆様が支えてくださったからだと思います。来年度も、「広徳中スクールプライド」を胸に頑張りましょう。

さて、短い春休みが終われば皆さんは進級し、１つ上の学年となります。新２年生には、いよいよ後輩ができ、今まで以上に責任のある行動が求められます。新１年生の手本となるような立派な２年生になって欲しいと思います。そして新３年生の皆さんは最上級生となり体育大会や文化発表会など、中学校生活最後の大きな行事を迎えると共に、部活動などの大会や、２学期には進路選択の時期を迎えます。しっかり考えて行動し、確実に前へ進んで下さい。一人ひとりが、「広徳中プライド」を十分に発揮できることを期待しています。春休みは、体調に気を付け、命を大切に、皆さんがまた元気でここに戻ってこれることを心から祈っています。

本年度の給食は昨日で最終でした

演劇部の皆さんによる、昨日の給食放送でもふれましたが、私たちは一年間に約１９０回の給食を食べています。給食には、様々な食に関する知識を学べるという特徴があります。

その知識とは、食事のマナー、栄養のバランスや健康的な食事のとり方、食事の際の安全と衛生についてなどです。また、日本の郷土料理や行事食、世界の料理、地域で収穫される地場産物についても知ることができます。

最後のメニューは、皆さんからも人気のポークビーンズでした。児島は、「検食」といって皆さんより一足先に給食を食べますが、昨日も職員室では、３年生の先生方が給食を食べていました。

今年度で退職されたり、学校を異動される先生にとっては広徳中学校で食べる最後の給食になりました。本校での思い出を胸に、次のステージでもお元気で活躍されることを願っています。

特別支援学級（自閉・情緒）の新設について

校区の小学校である広徳小には、自閉・情緒の特別支援学級がありますが、本校には今年度まで、開設されていませんでした。「地域の学校に通いたい」という保護者の皆さんや地域の方の要望で、来年度より、本校にも自閉・情緒の特別支援学級が新設されることになりました。

この学級では、一斉指示を理解することが苦手だったり、周囲の環境に対してストレスを感じて、気持ちが不安定になってしまった際に具体的な方法を通して落ち着きを取り戻すことができるよう、生徒一人一人の発達段階や、心の状態に応じた指導内容や指導方法の工夫を検討し、適切な指導を行っていくように努めていきます。あわせて６組に入学予定の新１年生が５名となるため、６組は２つに分けて授業や活動を行う予定です。今後も特別支援教育の充実を図ってまいります。

SDGs 基本理念　No one will be left behind.「誰一人取り残さない広徳中学校を目指して」